

講演会

「生と死のコーナー」関連行事



生と死をつなぐケア

-コントロールできないものに寄り添うこと

講師 田村 恵子 氏

(京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻教授
がん看護専門看護師)

令和元年**10月10日(木) 18:00~19:30** (開場17:30)

会場：山梨大学 医学部キャンパス 臨床講義棟 臨床大講堂
(山梨県中央市下河東1110)



■講師略歴

1996年聖路加看護大学大学院看護学研究科修了。1997年にがん看護専門看護師認定を取得。わが国における末期がんに対するホスピスケア(緩和ケア)の草分けである大阪市・淀川キリスト教病院で1987年より27年間務め、約6000名を超える看取りに向き合う。2006年大阪大学大学院医学系研究科修了(医学博士)。2014年1月より現職。さらに、2015年7月より、地域で生活するがん患者や家族ががんをきっかけとして語り合い、生きる知恵や支え合う力を育む市民活動「ともいき京都」を開始し、ケア的コミュニティづくりを目指している。

ホスピスでがん患者を最期まで看取り、家族の看護にも取り組む姿がNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で2008年に放映された。2012年3月にはTBS系列放送「奇跡のホスピス～人生の"わすれもの"ってなんですか?～」(MBS制作)主人公・田辺礼子のモデルとなる。

■主な著作

『余命18日をどう生きるか』(朝日新聞出版)、
『看護に活かすスピリチュアルケアの手引き 第2版』(青海社)など

山梨大学医学部キャンパス



入場無料・事前予約不要

興味のある方は、学内外問わず、また医療関係者以外でもどなたでも聴講できます。
この機会に是非、お越しください。

主催・お問い合わせ:山梨大学附属図書館医学分館

☎ 055-273-9357

✉ servmed@yamanashi.ac.jp

